

科目名	ITプロモーション							年度	2026
英語科目名	IT Promotion							学期	後期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	内田		教員の実務経験	有	実務経験の職種		Office研修講師□		
【科目の目的】 動画制作の流れを理解し、自分自身で動画制作ができるようになることを目指します。具体的には、撮影、編集、エフェクト付けのスキルを習得することで、魅力的な動画を制作する能力を身につけることを目指します。									
【科目の概要】 編集では、映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方など、動画をスムーズに編集する方法を学習します。また、字幕やエフェクト付けによって動画に効果を加え、より魅力的に仕上げる手法を用いることが出来るようになります。グループ活動を通して、企画や動画制作に挑戦し、動画制作を中心としたプロジェクトの経験を積み重ねていきます。									
【到達目標】 A. 動画制作の基本的な流れを理解できる B. 映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方を理解できる C. 字幕やエフェクトの使い方を理解できる D. SNS向けのショートムービー制作を行うことができる E. グループワークを通じて、チームで協力しながら動画制作を行うことができる									
【授業の注意点】 ノートパソコンを必ず持参すること。毎回の授業は、前回までの授業の内容が身につけていることを前提に行うため、必ず復習をすること。授業時間内に終わらなかった演習問題があった場合には、次の授業までに終わらせておくこと。特別な理由（路線の運休、法定伝染病など）のない遅刻や欠席は認められない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	動画制作の基本的な流れを理解でき、授業内のみならず自主的に調査をし、意欲的に学びを深めることができる	動画制作の基本的な流れを理解でき、授業内で意欲的に学ぼうとしている	動画制作の基本的な流れを理解できる	動画制作の基本的な流れを理解していない	動画制作の基本的な流れを理解する姿勢がない				
到達目標 B	映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方を理解し、使いこなすことができる	映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方を理解し、使うことができる	映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方を理解できる	映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方を理解していない	映像のカットやシーンの組み合わせ、トランジションの使い方を理解する姿勢がない				
到達目標 C	字幕やエフェクトの使い方を理解でき、使いこなすことができる	字幕やエフェクトの使い方を理解でき、使うことができる	字幕やエフェクトの使い方を理解できる	字幕やエフェクトの使い方を理解していない	字幕やエフェクトの使い方を理解する姿勢がない				
到達目標 D	SNS向けのショートムービー制作を行うことができ、完成度の高い作品を作ることができる	SNS向けのショートムービー制作を行うことができ、より良いものにする意欲がある	SNS向けのショートムービー制作を行うことができる	SNS向けのショートムービー制作を行うことができていない	SNS向けのショートムービー制作を行おうとする姿勢がない				
到達目標 E	グループワークを通じて、チームで協力しながら動画制作を行うことができ、完成度の高い作品を作ることができる	グループワークを通じて、チームで協力しながら動画制作を行うことができ、より良いものにする意欲がある	グループワークを通じて、チームで協力しながら動画制作を行うことができる	グループワークを通じて、チームで協力しながら動画制作を行うことができていない	グループワークを通じて、チームで協力しながら動画制作を行おうとする姿勢がない				
【教科書】 世界一わかりやすい動画制作の教科書（技術評論社）									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 学習した知識を活用するパフォーマンス課題、発表課題等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ITプロモーション			年度	2026
英語表記		IT Promotion			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	動画制作の流れ	動画制作をどのように学ぶのか？	1 動画制作の流れ	基本的な動画制作の流れを理解できる	2	
			2 編集手法の概要	編集手法についての概要を理解できる		
			3 映像の必要性	アイデアを映像に表現する必要性を理解できる		
2	カット①	カットはどのように行うのか？	1 カット手法	カット手法について理解できる	2	
			2 カットのタイミング	カットのタイミングを理解できる		
			3 カットの必要性	カットにより動画のスムーズな流れになることを理解できる		
3	カット②	実際にカットを利用した動画制作を行おう	1 適切なカット	プロジェクトに適したカットの選択ができる	2	
			2 カットと全体の把握	シーンのつながりを考えたカットができる		
			3 カットの効果	シーンのカットによって表現される効果を理解できる		
4	トランジション①	トランジションはどのように行うのか？	1 トランジション手法	トランジションを理解できる	2	
			2 トランジションのタイミング	トランジションのタイミングを理解できる		
			3 トランジションの必要性	トランジションより動画のスムーズな流れになることを理解できる		
5	トランジション②	実際にトランジションを利用した動画制作を行おう	1 適切なトランジション	プロジェクトに適したトランジションの選択ができる	2	
			2 トランジションと全体の把握	シーンのつながりを考えたトランジションができる		
			3 トランジションの効果	トランジションによって表現される効果を理解できる		
6	字幕①	字幕の追加はどのように行うのか？	1 字幕の追加手法	字幕の追加を理解できる	2	
			2 字幕の追加のタイミング	字幕の追加のタイミングを理解できる		
			3 字幕の追加の必要性	字幕の追加により動画が見やすくなることを理解できる		
7	字幕②	実際に字幕の追加を利用した動画制作を行おう	1 適切な字幕の追加	プロジェクトに適した字幕の追加ができる	2	
			2 字幕の追加と全体の把握	シーンのつながりを考えた字幕の追加ができる		
			3 字幕の追加の効果	映像と一体感のある字幕を作成することができる		
8	音声①	音声の編集はどのように行うのか？	1 音声の編集	音声の編集を理解できる	2	
			2 音声の編集のタイミング	音声の編集による効果を理解できる		
			3 音声の編集の必要性	音声の編集により理解しやすい動画になることを理解できる		
9	音声②	実際に音声の編集を利用した動画制作を行おう	1 適切な音声の編集	プロジェクトに適した音声の編集ができる	2	
			2 音声の編集と全体の把握	シーンのつながりを考えた音声の編集ができる		
			3 音声の編集の効果	音声の編集によって得られる効果を理解できる		
10	SNS向けのショートムービー制作①	SNS向けのショートムービー制作を行おう	1 ショートムービーの特徴	SNS向けのショートムービーの特徴を理解できる	2	
			2 効果的なメッセージ	効果的なメッセージの重要性を理解できる		
			3 ストーリー構築	ストーリー構築の重要性を理解できる		
11	SNS向けのショートムービー制作②（発表）	SNS向けのショートムービーの発表をしよう	1 動画発表	制作した動画を発表することができる	2	
			2 発表の聴講	他の学生が制作した動画の発表を聞くことができる		
			3 発表から学ぶ	他の学生の良い点を学ぶことができる		
12	チームでの動画制作①	チームでの動画制作を行おう（グループ分け・企画）	1 役割分担	メンバーの強みと得意分野を考慮して役割分担できる	2	
			2 意欲的な活動	グループ内で意欲的な活動ができる		
			3 動画制作の企画立案	コンセプトを持った動画制作の企画を立案できる		
13	チームでの動画制作②	チームでの動画制作を行おう（撮影と編集）	1 撮影	メンバーと協力して撮影を進めることができる	2	
			2 映像素材	コンセプトにあった映像素材を収集することができる		
			3 素材の編集	素材の編集を分担して行うことができる		
14	チームでの動画制作③	チームでの動画制作を行おう（編集と発表準備）	1 編集作業の調整	グループ内での編集作業を調整することができる	2	
			2 動画の完成	コンセプトにあった動画を完成することができる		
			3 動画発表の準備	動画発表の準備を適切に行うことができる		
15	チームでの動画制作④（発表）	チームで制作した動画の発表をしよう	1 プレゼンテーション	制作意図が伝わるプレゼンテーションができる	2	
			2 フィードバック	他のチームに適切にフィードバックを行うことができる		
			3 改善点を考える	フィードバックをもとに改善点を考えることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等